



「第 57 回 ぼくらのひろば」 表彰式の開催 & 詩集第 57 号の発行



ターゲット 4. a

2024 年 1 月 30 日

郡山市教育委員会学校教育部

学校教育推進課

課長 日下 明彦

TEL : 924-2438

SDGs ターゲット 4. a 「全ての人々に安全で非暴力的、包摂的、効果的な学習環境を提供する」

郡山市内の小・中・義務教育学校の児童生徒から詩を募集し、優れた作品を表彰するとともに、「詩集 ぼくらのひろば 第 57 号」を発行します。

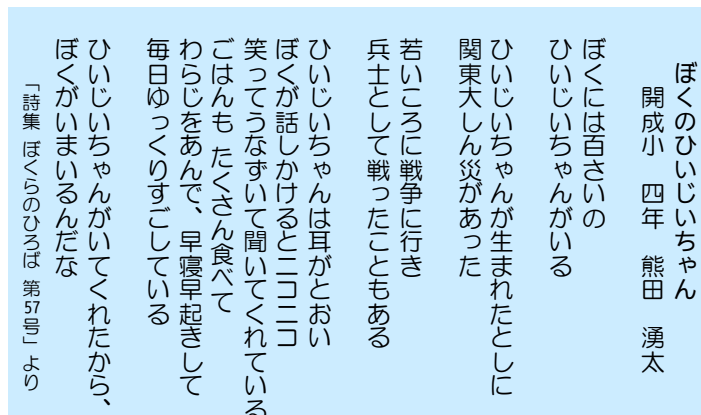
本年度は 1,245 編の応募があり、その中から特選 20 編、入選 50 編、佳作 80 編の入賞作品が選ばれました。

1 表彰式

- (1) 日 時 令和 6 年 2 月 3 日(土) 午前 10 時 30 分 ~ 午前 11 時 40 分
- (2) 場 所 ミューカルがくと館 1 F 大ホール 郡山市開成一丁目 1-1
- (3) 出席者
 - ・特選に選ばれた児童生徒 (20 名) と保護者
 - ・青い窓の会 代表 橋本 陽子 様
 - ・郡山市教育委員会学校教育推進課長
- (4) 内 容
 - ・表彰
 - ・講評・講話 審査委員長 青い窓の会代表 橋本 陽子 様
 - ・詩の朗読発表 小学生 2 名・中学生 1 名
 - ・記念撮影

2 「詩集 ぼくらのひろば 第 57 号」の発行

- (1) 掲載作品 入賞した詩 150 編 (特選 20 編・入選 50 編・佳作 80 編)



2024 (令和 6) 年に郡山市は市制施行 100 周年を迎えます!!

ひらけ 未来へ こおりやま

- (2) その他
- ・ 詩集は市内の公民館や図書館でご覧いただけます。
 - ・ 「広報こおりやま」に、詩集に掲載された作品の中から、毎号 1 編ずつ掲載されます。

■ ■ ぼくらのひろば ■ ■

1967（昭和 42）年から毎年作品募集、詩集を発行しています。

■ ねらいは

- ・ 児童生徒が継続的な詩の創作に取り組む機会を提供し、作品作りを通して感性を高め、豊かな心情を養う。
- ・ 優秀作品を選び、詩集「ぼくらのひろば」に収め、児童生徒が作品を通して年齢や地域を越えて交流する。

■ 経緯について

- ・ 1967（昭和 42）年、郡山児童文化協会（当時）と「ボクラのひろば」運営実行委員会の協力により、子供たちの自由な表現の場として始められました。詩の選考には、当時、児童詩活動をしていた佐藤 浩氏（青い窓主宰）が携わりました。
- ・ 2001（平成 13）年には、郡山市教育委員会の運営となり、『青い窓』の代表 橋本陽子 氏の協力により現在まで継続されています。
- ・ 1975（昭和 50）年 6 月号より「広報こおりやま」毎号に代表の詩が掲載されています。

■ 『青い窓』について

- ・ 1960（昭和 35）年 5 月、詩人 佐藤 浩 氏により創始。現在の代表は橋本 陽子 氏
- ・ 詩誌『青い窓』は今年で創刊 60 年の節目を迎え 600 号を数えます。
- ・ 子供達の詩は太陽の匂いがします。その子供達に呼びかけて来た言葉は『よく見つめ、よく考え、ていねいに生きましょう』。そして、大人の社会に向かっては、『心も含めて、子供の実像を見て下さい』と言いつつ、言い続けて参りました。
- ・ 「青い窓から世界の窓へ。世界は空でつながっている。ふくしまから子どもたちの声を世界に届けよう」をコンセプトに、Skylight Project のメンバーは I C T（情報通信技術）を駆使して子どもたちの詩を世界に広める活動もしています。



青い窓ホームページ

（青い窓ホームページから一部抜粋）